

しろさわふたぎ

一名くろみのにしごり

Symplocos paniculata Miquel
(= *Palura paniculata* Nakai)

本州中部以西の山地に生える落葉灌木で、幹は灰褐色で縦に細かく割れる。各部全く無毛で、若枝は緑色で少し白粉をおびる。葉は柄があり互生し、長倒卵形で長さ5-10cm先は急に尖り、基は楔状に細まり、縁に内へ曲った鋸歯がある。5-6月、若枝の先に円錐花序をなして白花を開く。萼片は卵形で小さい。花は径約8mm、花弁は5枚で楕円形、雄蕊は約25本、1雌蕊。果実はゆがんだ広卵形で長さ6-7mm、秋になり黒く熟す。第673図にあるサワフタギ (*Symplocos chinensis* Druce) は若枝、葉、花序に毛があり、果は青藍色に熟す。



第 3384 図

いのこしば

Symplocos myrtacea Sieb. et Zucc.
(= *Bobua myrtacea* Miers)

近畿以西の暖地に産する常緑小喬木で、枝は比較的細く赤褐色である。各部無毛で、乾くと黄緑色になる。葉は互生し、1cm内外の柄があり、長楕円形で先は長く尾状に尖り、縁に低い鈍鋸歯があり、長さ3-8cm 巾1-2.5cm、薄い革質である。5-6月、葉腋に1-5花からなる疎な総状花序を出し白花を開く。花梗は細く、萼筒は漏斗状、萼片は5個で卵形。花は径1cm内外、花弁は5枚、多数の雄蕊と1雌蕊がある。果は細長い柄の先につき、卵形で長さ6-8mm、紫黒色に熟す。本種は一般にハイノキと呼ばれるが、ハイノキの主産はクロバイである。



第 3385 図

はなはまさじ

Limonium sinuatum Miller
(= *Statice sinuata* L.)

地中海沿岸地方原産の多年生草本で、園圃に栽培され、又切花となる。高さ50-70cm、根生葉は羽状に分裂し、或は少々不規則に波状を呈し、裂片は円頭で先端の裂片は最も大であり、上葉は漸次小形となり線状披針形、全体に粗毛を散布し、毛根に小瘤状突起があって粗澁する。茎に狭翼があり、上方にて二又状に分枝し、少々水平に展開する枝端に小穂を偏側して数個並立し、小穂に3-5花を開く。苞は披針状小形、萼は截頭倒円錐状、青紫、紫、紅などの色を呈し、光沢ある乾膜質で縦皺が多い。花冠筒部は小形円筒状、先端は5裂し、白色、5雄蕊があり、花柱は基部まで深く5裂する。和名は花浜匙の意。



みやまこなすび

Lysimachia Tanakae Maxim.

紀伊・四国・九州に産する多年生草本で、全体に軟毛があり、茎は初めから蔓状に長く地上をはって節から根を下している。葉は対生し長い柄があり、腎円形又は卵円形で先は円く全辺、長さ1-2cm、質軟く葉肉中に黒い点及び短い条線が見える。6-7月、葉腋から長さ2-3.5cmの細長い花梗を出して、径8-10mm許の黄花を開く。萼片は5個、披針形で長さ5-6mmある。花冠は5裂し萼片より長く鮮黄色で細黒点が見える。内に5雄蕊、1雌蕊がある。コナスビに似ているが、葉は幅が広く円く黒点があり、花梗は細長く、花冠は大きく、萼片は巾が広い。



おこなすび

Lysimachia Tashiroi Makino

九州北部の山地に産する多年生草本で、全体に軟毛がある。茎は長く地上をはい、葉は対生し長い柄があり、広卵形で全辺、長さ1.5-4cm、質はやや厚く黒点はない。花をつける枝はやや立ち上り、上部の葉腋から長さ1.5cm内外の柄を出し、7月、径約1.5cmの黄花を開く。萼片は狭披針形で長さ7-11mm、花冠は5裂し、裂片は長楕円形で、萼片より長い。内に5雄蕊、1雌蕊がある。コナスビに似ているが、葉の先は円味があり、花梗は長く、花ははるかに大きい。和名はコナスビよりも全体が大きいので名付けられた。



第 3387 図

かがりびばな

一名ぶたのまんじゅう、しくらめん
Cyclamen persicum Miller

西南アジア原産の多年草で、観賞用として主に鉢植として温室で栽培される。扁球形の大きい球茎は半ば地下に埋まり、頂部から長い柄をもった葉を叢生する。葉は心臟形で縁に縮れた細歯あり、肉質で厚く無毛、上面は青緑色で脈はやや凸出し、多くは脈間に灰白色の模様あり、下面は紫色をおど。冬から早春に太い花茎を超出し、先は点頭して大形の1花を開く。花冠は5深裂し、裂片は蕾の時は振れて下向するが、開くと基から上方に反転し、長楕円形鈍頭である。短い花筒の内に5雄蕊、1雌蕊がある。果時花茎は下へ曲り、蒴果は球形である。花は紫紅色、白色、淡肉紅色などあり、又八重咲や弁の縮れたものなど多くの園芸的品種がある。和名躑躅花は花形から名付けられ、又豚の饅頭は英名 Sowbread の意識である。



第 3388 図

はいのき科

はいのき科

いそまつ科

さくらさう科

さくらさう科

さくらさう科